

野生イノシシへのCSF経口ワクチン散布の実施について

東京都では、国内及び都内で飼育する豚のCSF（豚熱 旧称：豚コレラ）発生予防のため、農林水産省の指針に基づき、野生イノシシに対する経口ワクチンの散布を実施します。

使用するワクチンは、国の食品安全委員会において安全性が評価されており、散布したワクチンについては、一定の期間ののち、回収いたします。

つきましては、住民の皆様のご理解、御協力をお願いいたします。

(イメージ)



環境からウイルスがいなくなる



豚への感染がなくなる

野生イノシシCSF（豚熱、旧称 豚コレラ）経口ワクチンQ&A

Q 1. なぜ、イノシシにCSFの経口ワクチンを散布するのか

A 1. 国内の豚でCSFが各地で発生した要因の一つとして、野生イノシシからのCSFウイルスの伝播が挙げられています。

現在国内で発生しているCSFは病原性が弱い（死亡率が低い）のですが、伝染する力が強いため、知らず知らずのうちに感染が拡大する特徴があります。これは、豚だけでなく、イノシシにも同様の傾向が見られることから、野生イノシシでもCSFの感染が拡大している状況です。野生イノシシで感染が拡大した場合、環境中でのウイルスの量が多くなるため、豚を飼育する農場にウイルスが持ち込まれる機会が増加し、農場でCSFが発生する恐れがあります。

環境中のCSFウイルスを低減、無くすため、野生イノシシの捕獲と合わせ、野生イノシシへのワクチン散布を実施することとなりました。

Q 2. 経口ワクチンはどの様なものか

A 2. ワクチンの入ったアルミ包の周りに、トウモロコシを固めた四角い形をした固形のもので、人体には無害です。



Q 3. 経口ワクチンはどこにどの様に散布するのか

A 3. イノシシが生息している山林等の土の中に埋めます。散布場所にまず餌付をしてからワクチンを埋め、イノシシに摂取させます。

Q 4. ワクチン散布のスケジュールは？

A 4. 1回の散布につき、餌付に10日間、ワクチンの散布に3～5日間、ワクチンの散布5日後の回収作業に3～5日間としています。

Q 5. 散布の回数は？

A 5. 春、夏、冬の時期に散布します。

各時期に2回散布を行うため、年6回散布を実施します。

Q 6. 散布後のワクチンはどうなるのか？

A 6. イノシシが食べなかったワクチンやアルミ包は回収します。

また、ワクチンは自然環境下では、4日程度で効果がなくなります。

Q 7. 散布地域はどのように決めたのか？

A 7. 感染野生イノシシが発見されている県を囲むように、国が散布地域を指定します。そのため、今後も感染野生イノシシの感染確認場所が拡大する場合は、散布地域の見直しが行われます。

Q 8. 他の野生動物が摂取しても大丈夫か？

A 8. 他の動物が摂取しても影響はありません。

Q 9. ワクチンを摂取したイノシシは食べても大丈夫か？

A 9. お肉の安全性に影響はありません。国の食品安全委員会においても安全性が評価されています。

※参考

○農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/domestic-62.pdf>

○東京都での野生イノシシのCSF検査状況

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/csf/csfino/>

CSF経口ワクチン散布についてのお問合せ先
東京都産業労働局農林水産部食料安全課CSF対策担当
TEL : 03-5320-4845 FAX : 03-5388-1456